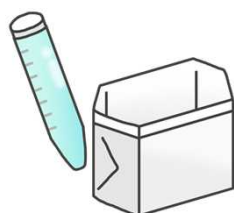


## 尿検査

尿検査は、尿の中にどのような成分が出ているか調べる検査です。

腎臓で作られる尿には、身体活動で生じた余分な水分や塩類が含まれています。しかし腎臓や尿路の病気の他、糖尿病や高血圧などの全身病でも、健康なら尿にほとんど含まれないような物質が増えることがあります。そのため、尿に含まれる成分の量を調べることによって、腎臓の働き具合や全身の健康状態をある程度判断することができます。



比較的簡単に短時間でできる尿検査は、健診でも診療でも、大切な基本的検査といえます。

まだ自覚症状が出る前に尿検査で病気が見つかることも多いので、「要再検査」や「要精密検査」という通知を受けた場合は、必ず医療機関を受診しましょう。

	検査の目的	疑われる病気	病気ではないが異常が出る状態(体質)
蛋白	腎臓障害/ 尿路感染などの有無	腎炎、ネフローゼ、 尿路感染症、結石、腫瘍など	体位性蛋白尿、 熱性蛋白尿など
糖	糖尿病のスクリーニング	糖尿病	腎切除後高血糖、 腎性糖尿など
潜血	血尿の有無	腎炎、高血圧、結石、 腎腫瘍、膀胱がん、膀胱炎など	特発性腎出血
比重	尿の濃縮、希釈力の評価	高値：糖尿病、ネフローゼなど 低値：腎障害など (注)薬品による影響	高値：多汗時の脱水状態など 低値：水分多量摂取

生理中の尿検査受診で、蛋白や潜血に影響があると言われていています。陽性の場合、潜んでいる病気の可能性も否定できないため、必ず、再検査を受診しましょう。